

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	N 世界史	3	3	文系GA	3組・4組・5組

教科書	山川出版社『詳説世界史』(世探704)	副教材	最新世界史図説タペストリー 二十二訂版

科目の目標	<p>第一次世界大戦が勃発するまでの各国の外交関係を理解し、帝国主義的国家戦略のもとにおける列強諸国の動向を理解する。また、第一次世界大戦後の戦間期における各国の状況を俯瞰し、第2次世界大戦に至る経緯とその要因を考察する。資本主義と社会主義のイデオロギーを理解した上で、冷静構造および現代に至るまでの流れを理解する。</p>
-------	--

科目の概要	<p>第二次大戦後も、各地での戦争・紛争は絶えることなく勃発し、環境問題・さらには宗教間の対立など、我々の生活を脅かす多くの問題が生じている。ではなぜ、そのようなことが起こるのか。どのような原因があるのかを理解するためには、過去を多角的に考察していく必要がある。世界史は過去を学び、未来へつなげる建設的な科目であるといえる。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、 ④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。また、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	捉えた事実に即して課題を発見し、その課題を解決するためにどのような取り組みが必要となるのか考える力を高める。また、課題や解決方法について他者の意見や論理について触れることで、より妥当な知恵を見出し、それらを適切に言語化する力を身につける。	授業の内外で、歴史に対して興味や関心を深め、積極的に学習する力を高める。歴史的思考力を大事にして、現在の社会のありようを捉え、自分が社会のなかで何ができるかを考え、よりよい社会の実現に向けて行動する力を身につける。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 2.列強の世界分割と列強体制の二分化 3.アジア諸国の変革と民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1.第一次世界大戦とロシア革命 【1学期 中間試験】 5月20日～23日	<ul style="list-style-type: none"> ・列強による世界分割が、どのような経緯で進行し、各地に与えた影響について理解する。 ・ビスマルク外交の下、形成された複雑な同盟網を整理し、各国の狙いを考察する。 ・朝鮮、中国の動向を理解し、当時の内政や中国国内での革命運動について理解する。 ・第一次世界大戦の勃発と経過を概観するとともに、ロシアのソヴィエト政権成立過程を理解する。
	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 2.ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3.アジア・アフリカ地域の民族運動 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1.世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2.第二次世界大戦 【1学期 期末試験】 7月1日～5日	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制下における各国の状況を整理し、各国の動向を比較しながらその特徴を理解する。 ・日本の中国進出に伴う、第一次国共合作を理解するとともに、その後の内戦について考察する。 ・インド、西アジア、アフリカ地域の民族運動を概観し、戦間期における列強諸国との関係性を考察する。 ・世界恐慌発生の要因を理解し、各国の対応について理解する。 ・第二次世界大戦について多角的な視点で考察する。
2 学 期	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 3.新しい国際秩序の形成 第18章 冷戦と第三世界の台頭 1.冷戦の展開 2.第三世界の台頭とキューバ危機 【2学期 中間試験】 10月15日～18日	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の国際秩序について、第一次世界大戦後の状況と比較しながら、その違いについて考察する。 ・冷戦の基本的構造を理解し、西側・東側陣営の動向を概観するとともに、それに伴う周辺国の諸問題を理解する。 ・アフリカ諸国の独立に伴う諸問題について考察する。
	第18章 冷戦と第三世界の台頭 3.冷戦体制の動揺 第19章 冷戦の終結と今日の世界 1.産業構造の変容 2.冷戦の終結 3.今日の世界 【2学期 期末試験】 12月2日～6日	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦下で勃発したヴェトナム戦争の構造を理解し、その後の展開や影響を理解する。 ・「プラハの春」に代表される東欧諸国の民主化運動を概観し、ソ連の対応について理解する。 ・冷戦の終結までの経過を理解し、そのきっかけであるペレストロイカ・グラスノスチについて理解する。 ・中東戦争について理解し、現在に至るまで続くイスラエルとパレスチナの対立について考察する。 ・冷戦後の国際情勢を理解し、現代の世界における諸問題を考察する。
3 学 期	特別編成授業を実施する。	